

ロボット「動いた！」

大館市の
発明クラブ
小学生対象に教室

小学生対象のロボット教室が7日、大館市の秋田職業能力開発短期大学校で開かれた。児童は車輪で走るロボットに停止や転回する命令をプログラムして、思い通りに動かすか試行錯誤しながら取り組んだ。

大館少年少女発明クラブ（戸田直人会長）主催。プログラミングに親しみ、課題解決能力を培う狙いがある。初級と中級コースに市内小学校の3～6年生約20人が参加した。

初級では、前進や停止など決められた動作をロボットに

正しくプログラムできるように取り組んだ。2秒前進したら右に100度旋回するなど命令通りに動くかを何度もテストしていた。

中級は、赤外線センサーを搭載した自走ロボットの製作に挑戦。模擬コース上の黒線をなぞって走る仕組みで、右に曲がると右側のウインカーが点灯するなどの指示も組み込んだ。児童らは教室の指導員から「ウインカーが付きっぱなしなので、直進時は消す条件を組み込もう」と助言を受けて試行錯誤を繰り返した。

初級コースの佐藤海斗さん

（東館小3年）は「直進の後、角度の調整でうまくいきなう」と話し、曲がるのが難しい。角度の調整していた。



組み込んだ条件通りにロボットが動くかテストする児童ら（秋田職能短大）